

## JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会 神奈川県大会 競技規則

実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。  
但し、以下の項目については、本大会用として大会規定を定め優先する。

### 競技のフィールド

(1) 縦6.8m、横5.0mとする。ただし、ピッチサイズは、それぞれの事情において設定してもよい。

### 競技時間

(1) 40分（前後半20分）としインターバルは5分を超えないものとする。

### 試合方法

(1) トーナメント方式とする。

### 勝敗の決定

- ・勝敗が決しない場合は、出場中の競技者3人によるペナルティシュートアウトで勝利チームを決定する。
- ・決勝戦：10分（5分ハーフ）の延長戦を行う。勝敗が決しない場合は、出場中の競技者3人によるペナルティシュートアウトで決する。
- ・延長戦に入る前のインターバル：5分。ペナルティシュートアウトに入る前のインターバルは1分を超えないものとする。
- ・ペナルティシュートアウトになった場合、主審の指示により引率指導者1名がピッチ内外で指示を与えることを認める。
- ・アディショナルタイムの表示は：準決勝から行う。

### 競技者の数

(1) 8名

（8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3にして敗戦したものとみなす。）

試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

ただし、6名に満たなくなった場合は試合を中止とする。

リーグ戦の場合は棄権。トーナメント戦においてはもう一方のチームが次回戦に進出する。

(2) 交代要員の数

10名以内。交代を行うことが出来る数は制限しない。

（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することが出来る。）

### ベンチ入り人数

(1) 引率指導者2～3名、交代要員10名以内。

(2) ベンチ入り選手は、ピブスを着用する。

### 交代について

(1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

(2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

交代は自由な交代を適用する。但しゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーになった時に主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。

(3) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

### 反則と不正行為について

(1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。

(2) 退場を命じられた選手、指導者は、次の1試合に出場できず、

それ以降の処置は第4種規律・フェアプレー委員会決定する。

(3) 参加資格に違反やその他の不都合な行為があった場合は、当該チームの出場停止あるいは当該チームの参加した試合を没収試合とする。以降の処置は規律・フェアプレー委員会の指示によるものとする。

### 審判員

(1) ・4回戦までは、1名の主審と2名の副審が指名される。副審については、チーム帯同の公認審判員をお願いします。第1試合は、第2試合の両チームでお願いします。それ以降は後審判をお願いします。（第4審判員は置かない）

・審判服を着用する。また、審判員は審判登録票を持参・提示すること。

・副審担当者は、10分前にコート本部で打合せを行う。

・5回戦からは、神奈川県協会審判委員会派遣の1人の主審と補助審判が指名される。

### マッチウエルフェアオフィサーの配置

(1) 暴力・暴言・差別を排除し、安心・安全な環境づくりの一環としてマッチウエルフェアオフィサーを配置することがあります。気づきがあった場合は当該チームまたは指導者に対してお話しする場合があります。

### その他

(1) キックオフからの直接ゴールインは得点と認めず、相手チームのゴールキックで再開する。

(2) 負傷者の対応は主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可する。

(3) 選手の健康、安全を最優先として、雷、突風、大雨等の場合は適切な判断で対応する。

（途中中断で再開できる場合）試合時間の残り時間とする。とし、再開できない場合は再試合とする。

（途中中断で再開できない場合）再試合とする。ただし、前半が終了している場合は試合成立とする。

再開、中止の決定は会場責任者及び、審判で決定する。